

何とか「2分の1成人式」を実施できました

年が明け1月、なかなかレベルが下がらず、オンライン授業が続きました。今年度は後期の後半と呼んでいましたが、いわゆる3学期に当たる期間に、4年生は「2分の1成人式」を実施していました。オンラインではあるのですが、何とか実施したい、そんな思いで計画を立て、少しずつ準備をしていきました。

まずは、松、竹から実行委員を募りました。6人が立候補し、オンライン授業のない昼休み、クラスみんながご飯を食べている中、ズームで会議を開いて色々なことを決めていきました。プログラムを考え、まずはその中の歌、ゲームの内容を話し合いました。歌は3つくらい候補を出し、結局 GReeeeN の「星影のエール」に決定しました。みんなが知っていて、頑張れる歌というのが大きな理由です。また、当校の校歌を作ったのが「古関裕而」さんで、この年の NHK 連続テレビ小説「エール」の主人公がまさにその人だったのも理由になりました。

ゲームは、新聞じゃんけんに決定。2枚の新聞の上一人ずつにのり、ジャンケンをして、負けたらだんだん小さくして、新聞から出たら負けというものに決定します。これなら、各家庭ともに、親子で楽しめると考えました。

このように、オンラインでどのように実施したらいいのかみんなでも考えました。家の人に感謝の気持ちを伝えたいというのも大きなテーマになりました。そこで10年間の思い出を一人ずつ語り、最後に感謝の手紙を読むことにしました。

オンラインなら各家庭での参加になるので、マスクも外すことができ、保護者も隣で参加できるということで、コロナを逆手に取るような形で計画を進めたのです。

2月のはじめ、保護者あてに学年だよりを出しました。内容は2分の1成人式への案内状です。内容は次のようです。そのままお便りを紹介します。

学年だより

かがやけ未来へ



4学年

学年通信No.29
令和3年2月10日

☆「2分の1成人式」へのご案内☆

いよいよ来週金曜日、「2分の1成人式」を開催します。これまで実行委員の6人を中心に歌を決めたり、ゲームを決めたり、プログラムを組んだり、昼休みの貴重な時間を使って計画を立ててきました。今年度は、もちろんご承知の通りコロナのせいでせっかくの式もオンラインでの開催です。でも、その状況に負けないのがわが4年生です。みんながなかなか一堂に集まれず、練習不足の面もありますが、全員心を一つに一生懸命式の成功めざしてがんばります。当日はぜひご出席いただき、子どもたちの10年間の成長をお祝いしていただきたいと思います。

☆日時……………令和3年2月19日(金) 10:30~11:10

☆参加方法……zoomによるオンライン20086666(PW……)
前半と後半に分けて2回つないでください。
(前半…10:20~ 後半…前半終了後3分後 から立ち上げます。)

☆プログラム

(前半=司会 長井四季さん)→10:20からつながるようにします。(準備)

- ①はじめの言葉 (関岡南都さん)
- ②校長先生のお話
- ③ゲーム (関岡南都さん)
- ④10年間の思い出 (石野悠奈さん)
- ⑤歌~いのちのオーケストラ~ (石野悠奈さん)



☆休憩 (5分)

(後半=司会 相坂琴子さん)→前半終了後3分後につながるようにします。(準備)

- ①はじめの言葉 (下村暖さん)
- ②家の人へお手紙 (川元郁芽さん)
- ③先生方のことば (櫻谷、霜鳥)
- ④歌~星影のエール~ (下村暖さん)
- ⑤終わりの言葉 (川元郁芽さん)



☆その他

- ・今回は40分の予定で式を開催します。ただ、ZOOMが40分になると切れてしまうので、前半40分、後半40分の2回に分けて余裕をもってつなぎます。
- ・自宅のコンピュータの前に子どもとともに座って並び、ご参加ください。子どもたちは顔を出しますが、保護者のみなさんは顔は写らなくても結構です。
- ・ゲームは子どもと一緒にご参加ください。歌は一緒に歌っても構いません。
- ・10年間の思い出は、全員が話したことをPCを通してお聞きください。
- ・お手紙は、それぞれ場所で子どもたちがお母さんに向けて読み上げます。
- ・自分の2つ前にはミュートを解除して準備をしてください。
- ・みなさんが、心温まる、素敵な式になるようにご協力ください。

何と、こんな感じで準備していたのですが……ガーン!!!

なんと、式当日の3日前、レベルが下がり、全校当校に…!!! ガーン!!!

登校ができ、オンライン授業ではなくなるのは大変素晴らしいことですが、2分の1成人式はオンラインで準備をしていたのに、急に計画変更です。コロナにより今年度は毎回このような変更変更が続いていたから慣れてしまった?でも最後の最後に何てことー。結局内容は変えずに体育館で同じプログラムで実施することにしました。ステージ前のひな壇にディスタンスをとって集合し、新聞じゃんけんは友達同士で、歌もマスクをしたまま。あとは、コンピュータの前まで来て語り掛けることにしました。

結局、学校では、わずかな練習しかできませんでしたが、子どもたちは、画面の向こうにおうちの方がいらっしやると思って、しっかりと言葉を言ったり、歌を歌ったりすることができました。また下校後、各家庭で新聞ゲームをしたり、お手紙を読んだりすることもでき、大満足だったようです。校長先生には、特別授業として、スライドを作成して実施してもらい、また、たくさん褒めていただきました。他には全員の10年間のエピソードを知ったり、立派な態度で式に参加できたり、今回の式が特別なものになったようです。「5年生でも自分たちの力を見せつけるぞ。」「少しの練習でやりとげて、この学年すごいと思った。」「あと10年元気に過ごしたい」などの感想があり、子どもたちの心がきらきらと輝く最高の2分の1成人式でした。

